



菊花展の様子

第三十四回西日本菊花大会 閉幕

内閣総理大臣賞に 長谷川 良治氏 (福岡市)

宗 像

12月祭事暦

○毎月1・15日 月次祭
 午前10時～ 高宮祭 第三宮祭
 午前11時～ 第二宮祭 第三宮祭
 引き続き 宗像護国神社
 宗像護国神社 月命日祭(1日)
 月命日祭 月命日祭(15日)
 午前11時～ 総社祭
 浦安舞奉奏(1日)
 豊栄舞奉奏(15日)

○12日 午前6時～ 古式祭
 午前6時30分～ 御座
 午前10時～ 鎮火祭

○19日 午前11時～ 松尾神社祭

○23日 午前11時～ 天長祭

○31日 午後3時～ 年越しの大祝式
 引き続き 除夜祭

西日本最大の菊花の祭典、第三十四回西日本菊花大会(主催：宗像大社菊花会(会長：高島雪彦)・宗像観光協会(会長：吉武邦彦)、後援：福岡県他)が、先月二十三日まで催され多くの参拝者を魅了した。

大会開催にあたり宗像地区商工会青年部、宗像青年会議所、玄海ホテル旅館組合、宗像大社菊花会他各種団体の有志の御奉仕により、展示用のハウスを設営。また協賛会社各社のトラックで、南は鹿児島、西は長崎、東は山口まで九州各県の菊花愛好家が丹精込めた菊を搬入し展示した。

毎年特別展示されている地元玄海小学校児童の出品菊は、五・六年生の大輪に加え三・四年生も小菊を制作し、一人一人がメッセージをつけ、可愛らしく展示された。また、本年から九州菊花連盟九州大会を開催し、切花・鉢物による一品競技も行われ賑わいをみせた。大会審査は十月二十八日、福岡



内閣総理大臣賞 受賞 作品

県農業試験場園芸研究所野菜花き部長 中村 新一氏を審査長として、総勢六名で行われた。競技は大輪・盆栽・懸崖・特作・九州山口各県対抗大輪補助特別競技の五部門に分かれ、各々非常に厳しい出品基準、審査基準により作品の審査がなされ、今年も優秀な出品花が多かった為、優劣つけ難く判定は困難を極めた。

総評として「今年は猛暑に続き相次ぐ台風の接近により、栽培は非常に困難を極めると共に、審査日を例年より早めに設定した影響

「松・竹・梅」これらの植物は我が国では、祝意の象徴として慶事に用いられる。とりわけ竹についてはその旺盛な成長力、地下茎の強靱な生命力と、中空になる茎に神霊が宿るとする観念とによって、古来より神聖な禾木のひとつとされている。神社祭祀においても斎竹や祭器置など、竹がよく利用される。



源氏物語絵巻に「物語の出ではじめの祖」と書かれ、現存する最古の物語と伝えられる「竹取物語」においては、依代としての竹が登場し、光る竹の中からかぐや姫が誕生する。その他にも打ち出の小槌と同じように竹筒から米、黄金が出たり、竹笛が人の運命を告げるなどの昔話も多く遺されている。

昔から「地震の時には竹藪に逃げる」と言われている。地下茎がしっかりと大地に根張っているから安全だということのように竹は地震災害、水防、山崩れなどの防災面においても大切な働きがあり、国土と人命を守ってくれている。

風雪に耐え、弓のように湾曲しながらも挫折することなく再び立ち上がってくる姿こそ竹の「生きざま」なのである。わが国・わが人生を鑑みたとき、竹に学ぶ。(N・M)

神具・装束 結婚式場調度品

福岡店 〒812-0045福岡市博多区東公園2-31
 電話 福岡(092)651-9456番
 本店 〒600-8231京都市下京区油小路六条北入
 電話 (075)341-3341(代)~4番
 (075)343-3341番



木組の家 匠の技

総合建築業 株式会社 弘江組
 〒811-3406福岡県宗像市稲元1025 電話(0940)32-2567

響からか、どの菊も開花が若干遅れた。しかし、その中でも大臣賞(上位十二作品)受賞花は、色彩・調和・盆栽とも見事な出来栄であった」と発表された。

境内では、うどん・そば、ビールに地酒、イカ焼きなど宗像の特産品を販売する『いっぶく茶屋』が今年も宗像観光協会によって設置され、当大社菊花会による『苗売場』、『お茶席・菊みくじ』と共に、平日でも大変な賑わいを見せた。

また夜菊も観賞出来るようにと、口没から午後十一時まで心字池周辺を竹燈でライトアップし、夜訪れる観菊者を魅了した。
各賞、受賞者は
次の通り(敬称略)

内閣総理大臣賞

長谷川良治(福岡市)
農林水産大臣賞

池田昭(八幡西区)
文部科学大臣奨励賞

小柳博人(福岡市)
総務大臣賞

船越順一(大野城市)
法務大臣賞

時田義光(鳥栖市)
外務大臣賞

高地茂敏(福岡市)
財務大臣賞

田中昭治(前原市)
厚生労働大臣賞

三口澄夫(宗像市)
経済産業大臣賞

赤金国弘(田川郡)
国土交通大臣賞

本下みつ子(大野城市)
環境大臣賞

一世勝幸(大村市)
内閣官房長官賞

粉井弘巳(嘉穂郡)
防衛庁長官賞

富金原正史(宗像市)
首相補佐官山崎拓賞

浜田豊子(粕屋町)
衆議院議員渡辺具能賞

成川カオル(水巻町)
宗像大社司宮賞

中尾利夫(小倉南区)
佃俊美(田川郡)

保田直宏(京都郡)
小森一平(門司区)

九州農政局長賞
石原睦生(都城市)

福岡県知事賞
高橋良和(遠賀町)

重光由紀子(宗像市)
深川ユキ子(小倉南区)

馬場園馨(宗像市)
佐賀県知事賞

寺下政国(鳥栖市)
熊本県知事賞

境正(宇土市)
長崎県知事賞

一世静子(大村市)
福岡県議会議長賞

船越順一(大野城市)田中和夫(水巻町)
粉井藤子(嘉穂郡)宮末実(田川郡)

田畑実志(八幡東区)鳥巢敬次(八女市)
生武静男(鳥栖市)白壁富士夫(大野城市)

福岡県町村議会議長会長賞
石田進(直方市)中江良枝(宗像市)

坂本栄(中間市)豊原勇(別府市)



アクシス玄海での表彰式



いっぶく茶屋



巫女による野点

福岡県教育委員会賞

生武静男(鳥栖市)粉井弘巳(嘉穂郡)
陶山正利(大宰府市)石橋善治(福岡市)

全日本菊花連盟賞
松尾正勝(八幡西区)松尾常喜(大野城市)

九州山口
花弁園芸連絡協議会長賞
古川清茂(杵島郡)中垣静夫(三井郡)

九州花卉卸売市場連合会長賞
宮地隆治(武雄市)見城秀樹(大野城市)

福岡県農業協同組合中央会長賞
竹之内忍(行橋市)倉田征喜(大野城市)

福岡県農協同組合中央会長賞
天本吉明(鳥栖市)木下みつ子(大野城市)

山根正雄(八幡区)妹川尚生(三養基郡)
山根正雄(八幡区)妹川尚生(三養基郡)

(社)福岡県観光連盟会長賞
宮野克己(朝倉郡)花田憲一(若松区)

野中昭夫(西松浦郡)倉田征喜(大野城市)
福岡農林事務所賞
西山時秋(門司区)松野正徳(小倉南区)

永田ツルミ(宗像市)上田学(小倉南区)
福岡県中小企業経営者協会会長賞

原聡(鳥栖市)妹川尚生(三養基郡)

犬童重光(八幡西区)千々和正信(八幡西区)
福岡産業振興協議会長賞

高山健次(嘉穂郡)田中正一(甘木市)
馬場正明(東彼杵郡)川崎新一(北諸県郡)

九州旅客鉄道(株)賞
江田常夫(福岡市)田中正美(甘木市)

福岡県花卉園芸連合会長賞
倉田好雄(八幡区)増本一之(小倉南区)

坪根弥一(小倉南区)山領松行(杵島郡)
福岡県花卉市場協議会長賞

村上和雄(大野城市)石原睦夫(都城市)
千々和正信(八幡西区)関本和代(嘉穂郡)

柏屋地区市町長協議会長賞
下村連(遠賀町)松本和美(行橋市)

上野幸隆(宗像市)見城秀樹(大野城市)
遠賀郡町長会長賞

塩井朝人(八幡東区)波多野松男(八幡西区)
宗像郡町村長会長賞

古川美代子(小倉南区)占部正彦(宗像市)
山崎清己(築上郡)豊原文代(別府市)
栗田義信(鞍手郡)豊原勇(別府市)

宗像郡町村議会議長会長賞

寺下政国(鳥栖市)佐野進(小倉南区)
浜田豊子(粕屋町)伊藤康雄(大野城市)

遠賀町長賞
要博文(遠賀町)野村義光(田川市)

芦屋町長賞
伏賀喜久男(嘉穂郡)青木利康(小倉南区)

水巻町長賞
岸本敏彦(若松区)今村雪忠(小倉南区)

古賀市長賞
野中昭夫(西松浦郡)御田良知(大宰府市)

宗像市長賞
永田ツルミ(宗像市)宮原淳枝(宗像市)

津屋崎町長賞
田中正一(甘木市)安田剛(始良郡)

福岡町々賞
相川正春(大村市)園田秋博(宇土市)

大島村々賞
御田良知(大宰府市)宮野克己(大野城市)

宗像観光協会賞
加藤重喜(大分郡)緒方慶子(大野城市)



井手直義(天野城市) 洲上武俊(西松浦郡)
宗像大社菊花会長賞
 塩井朝人(八幡東区) 山口勝喜(藤津郡)
 関本紘一郎(嘉穂郡)
宗像農業協同組合長賞
 境正(宇土市) 時田義光(鳥栖市)
 岡田禎子(天野城市) 安田剛(始良町)
宗像地区商工会連絡協議会長賞
 榊原紘直(直方市)
津屋崎町商工会々々長賞
 石田桂子(宗像市)
宗像市商工会々々長賞

富金原初野(宗像市)
福岡町商工会々々長賞
 岸本敏彦(若松区)
玄海町商工会々々長賞
 栗田義信(鞍手郡)
大島村商工会々々長賞
 高橋良和(遠賀郡)
宗像大社氏子会会長賞
 緒方迪吉(宇土市) 岡田秋博(宇土市)
 安部由夫(天分市)
宗像ライオンズクラブ会長賞
 緒方迪吉(宇土市) 大塚孝二(天分市)

仰木保(中間市) 山崎信男(速見郡)
宗像ロータリークラブ会長賞
 下田一義(宇土市) 田中祐成(佐世保市)
 花田憲一(若松区) 古川美代子(小倉南区)
玄海ホテル旅館組合長賞
 見崎久義(天分市) 榊原紘直(直方市)
 鈴木輝夫(小倉北区)
宗像青年会議所賞
 中垣静夫(三井郡) 大坪常憲(佐世保市)
 富金原初野(宗像市) 堤勇孝(佐世保市)
宗像地区商工会青年部長賞
 堀川栄(宇土市) 岩川健一(若松区)
 松尾勇(佐世保市) 後藤勝司(天分市)
中原ガーデン賞
 波多野松男(八幡西区) 大庭笑子(鞍手郡)
 堤勇孝(佐世保市) 大塚春美(天分市)
(株)サカタのタネ賞
 平岡勝一(宇土市) 桑野房子(直方市)
 立花清一郎(若松区) 松尾勇(佐世保市)
(有)マルタ小泉商事賞 玄海小学校
(有)マルタ小泉商事賞 水島友昭
精興園賞 竹内雪恵
ヨシカネ特別賞 原田雪嶺
国華園賞 古波蔵正忠
特別奉納
 高島雪茂(遠賀町) 桜木為生(山川市)
 宮原恒俊(宗像市)
重複奉納作品
 船越順一(天野城市) 倉田征喜(天野城市)
 見城 秀樹(天野城市)
宗像菊友会
 馬場園馨 三口澄夫 石田桂子
 水田ツルミ 上野幸隆 富金原正史
 富金原初野 重光由紀子 中江良枝
 古部正彦 宮原善枝 宮本正
 熊本健三
宗像学習ネットワーク
 森弘喜 吉田睦雄 林正博
 石川定典 七五三清克
 春日野佳子 半田 茂之

古式祭の御案内

八〇〇年の伝統をもつ、宗像地方の特
 殊神事「古式祭」が左記日程で執り行われ
 ます。振るって御参列下さい。

日時 十二月十二日(日)

祭典 午前六時～

祭場 宗像大社本殿

御座 午前六時三〇分～一番座
 (二番座 五番座まで)

会場 宗像大社清明殿

御座料 一人 一、〇〇〇円

御座券は当日午前六時～
 販売致します。(例年午
 前五時三〇分位から多く
 の方が並び始めます。)

古式祭とは、神職・氏子・崇敬者
 全ての民が、宗像三柱大神様の神
 恩に感謝して「御座」を開き、御神
 前でその年収穫された米で作った
 食事を神様と共にいただく「神人
 和楽」の集いです。

この「御座」では蜜柑の原種であ
 る「九年母」、宗像市江口の浜でこ
 の時期しか採取出来ない「ゲバサ

藻」、スボ(稲穂の藁)を挿したご飯など、現
 代ではなかなか口にすることの出来ない、
 珍しいお膳が準備されます。

また会食後は、翁面・神盃・御札などが授
 与される「福引き」も行われます。

例年、二座 五〇名で五番座まで、約二五
 〇名の方が参列されます。



古式祭の様子

第三十三回宗像大社献詠短歌大会 福岡県知事賞に宗像市の小方玲子さん

三十三回目を迎えた宗像大社献詠短歌大会（主催：宗像大社歌会実行委員会・毎日新聞社、後援：福岡県他）が十月三十日（土）午前十時から当大社清明殿で開催された。

当日は快晴で、境内では菊花展が開催されており七五三詣、観菊者で参道は溢れかえる中、約七〇名の参加があった。この短歌大会の特色は、献詠（詠草を宗像大社御神前に奉



午後、急遽行った討論会では、参加者から多くの質問がなされた

納）することを柱としているため、他の短歌大会と違い当日の参加が受賞条件となつている。
まず、今回事務局に寄せられた参加者直筆の詠草「二八首」を神前に捧げる神事を行い、参加者は神妙な面持ちで臨んだ。そして当大社高向権宮司がこの短歌大会の歴史を交えた挨拶を行った。
続いては、例年参加者が楽しみにしている講演であったが、今回は講師の藤野早苗先生が所用のため遅れることとなり、急遽選者紹介・選者による作品評を前倒し、昼食となった。
午後からは、選者が選んだ歌をそれぞれ解説し、参加者の意見も聞くという討論形式での批評を行った。初めての試みであったが、各人歌にける想いがみられ白熱した場面もあった。その途中で、藤野先生（福岡市南区在住）が到着し、「九州の歌人たち」と題し、伊藤一彦、安永蔭子、

築地正子、山笠井喜美枝ら現代短歌を代表する九州の歌人にスポットをあてた講演を約一時間拝聴した。

藤野先生は山口県の御出身で、山口大学で国語学を専攻された後、短歌結社コスモス短歌会に入会。着実に力をつけられ「〇先生賞」「桐の花賞」「コスモス賞」を受賞。コスモス五十一年の歴史の中でも、この三つの作品賞を受賞されたのは二人のみで、現代歌壇で最も注目されている歌人の一人であり、一同楽しく勉強させていただいた。
入選歌並びに
各賞受賞者は次の通り（敬称略）

【特別賞】
福岡県知事賞
小方玲子（宗像市）
一列にならびて食後の歯をみがく
園児は春の光の中で
宗像市長賞
金子勲子（宗像市）
沖繩の朝市に見る島の蟹
歎しばられ青き泡ふく
福岡県教育委員会賞
石田こまよ（遠賀郡）
カラコ口と夏の思い出転がして
人なき浜をあき岳が行く
宗像市教育委員会賞
勝原たか子（中間市）
朝光を揉み込むように混ぜおりぬ
寝の糠床母より継ぎて



選者による選者評

宗像大社宮司賞
田志紀代子（宗像市）
もつれあう黄蝶のごとく児のふたり
駈けてゆきたり夕映えの中
毎日新聞社特別賞
松尾遵子（下関市）
さよならの言葉途中で切られて
受話器そのまま手の中にあり

【選者賞】
藤野賞 大西晶子（宗像市）
中西賞 山本静子（宗像市）
山崎賞 磯部静江（宗像市）
江口賞 吉田幸子（宗像市）
大野賞 辻野真理子（北九州市）
【互選賞】
宗像大社賞



今回の特別賞を受賞された面々

吉田ウト子（北九州市）
鬼塚富由子（遠賀郡）
川脇昭子（下関市）
北崎 薫（古賀市）
宗像大社歌会会長賞
大庭八千代（宗像市）
宗像大社氏子会会長賞
石松知子（宗像市）
毎日新聞互選賞
上浦柊子（福岡市） 山崎さが（北九州市）
森甲子（宗像市） 天野玲子（宗像市）
大畑真紀子（下関市）
【佳作】
目黒晴美（下関市） 占部カオル（宗像市）
岡田節子（下関市） 山口節子（宗像市）
長沼美恵子（宗像市）

玄海中学校で浦安舞

ニュージージーランドとの文化交流会に際して



て、今回訪日した同国の中学生二十二名の学校訪問・ホームステイに併せて開催された。

歓迎式典は、まずマウント・ロスキル校よりラグビーのオールブラックスのパフォーマンスで有名な「ハカ・ダンス」と呼ばれるダンスを披露。元々は先住民マオリ族の戦士が出陣する時、闘志を高める意味があるようである。

続いて、生徒会役員により英語の解説スピーチが流れる中、浦安舞が披露された。当大社神職による筆箒・龍笛の調べと、巫女の琴の旋律により舞が始まり、ニュージージーランドの中学生はもとより玄海中学校生徒の多くも初めて見る舞に目を奪われた。

その後、同校剣道部より剣道の型の演技があり日本はサムライの国とのイメージを持つマウント・ロスキル校生徒も東洋の神秘に心を奪われた。

最後にプレゼントの贈呈があり和やかな雰囲気の中に交流会は終了した。



マウント・ロスキル校による「ハカ・ダンス」

午後よりマウント・ロスキル校の一行は当大社で開催中の菊花展拝観に訪れ咲き誇る花々に皆が魅了された。交流会後にはホームステイが、四泊に亘り実施され短い間であったが両国の友好親善の使命を果たし無事母国への帰途についた。

※① マウント・ロスキル校

ニュージージーランド最大の都市・オークランドのほぼ中心に位置するマウント・ロスキル地区の公立学校で十一歳から十三歳までの生徒が学ぶ。日本の中学校に相当し全校生徒は約六百名。

スポーツ教育に熱心で国技といえるラグビーを始め、宗主国イギリスから伝わるクリケット、テニス、サッカーと多岐に及ぶ。海外交流としては、宗像市の他にシンガポールのアングリハイスクールなど盛んである。

※② 宗像市少年少女海外派遣研修使節団

平成三年、旧宗像市の市政十周年記念事業として国際教育を目的に始められた。新・宗像市にも継承されニュージージーランドへの訪問団派遣が過去十三回あった。マウント・ロスキル校との交流は今回で八回目となる。

日章興産(株)S Iビル青山 改修工事竣工奉告祭



祭典後の直会で、出光名誉会長は「このビルには並々ならぬ思い出があり、昭和四十四年のビル完成時には、一階のガソリンスタンドでの第一号車給油の式典を行っ

去る十月二十二日(金) 高向権宮司、神職一名が上京し、港区北青山にある日章興産(株) S Iビル青山改修工事竣工に伴う、奉告祭を斎行した。

このビルは、出光の首都圏における社有ビルとして、昭和四十四年清水建設が施行し、一階をガソリンスタンドとした八階建てで新築されたが、新耐震基準に準じた補強とテナントビルへのリニューアル化のため、今年四く九月の工期で全面改修工事が行われた。

竣工奉告祭では、出光興産出光名誉会長、清水建設今村相談役、出光興産遠山特別顧問、同橋本総務部長、日章興産花村常務ら関係者が参列し厳粛裡に斎行された。



日章興産(株)の今後益々の栄をお祈り申し上げます。

たことが、今でも昨日のこのように思い出される」と語られた。今後、一階は出光のガソリンスタンド、二階から上を一般の企業に事務所として賃貸することになつており、既に映像関係の会社、出版社などの入居が決定しているとのこと。

『世界に一つだけの花』の 榎原敬之さん 御礼参り



高宮斎場に参集した榎原さん以下、コンサートツアーメンバー面々

正午、前回参拝された

榎原さん、山弦の小倉さん、マネージャーの西田さん、国津神社恵比寿協会の奥村さん、(株)キョードー西日本の倉田社長をはじめコンサートツアーに参加しているメンバーら十三名が来社された。

先ず、本殿で『神恩感謝』の御祈願、一同で記念撮影、その後榎原さんのたつての希望で『高宮』を参拝した。

参拝を終えた一行は、当大神神島宮司、高向権宮司、広報担当の神職と勅使館で会食、和やかに談笑した。

また、即興で笙・箏・箏・笛三音での『雅楽』の演奏を行うと、榎原さんらは我が国の伝統文化に聞き入っていた。

同日夕刻から博多でコンサートの為、約二時間でお開きとなり一行は当大社を後にした。

そのコンサートツアー『エクスプローラー』には、広報担当の神職が



本殿で『神恩感謝』の御祈願



招かれ拜聴したが、会場の『福岡サンパレス』は二四〇〇人のファンで埋め尽くされ、チケットも完売であった。
コンサートは約三時間に涉り、その中で榎原さんは、今日当大社に参拝したことなど、交通安全だけではなく芸能の神という側面もあわせもつ当大社の御祭神についてなど、歌と歌の合間に約五分間ほど話された。今後の御活躍をお祈り申し上げます。

除夜祭・大祓神事の御案内

年の瀬を迎え、皆様には御多忙の御事と拝察申し上げます。今年一年を締め括る「大祓神事」「除夜祭」が近付いて参りました。

この大祓神事は「年越の大祓」と称し、夏(7月31日)に行われた「夏越の大祓」^{おほらへ}以後半年間の「罪」・「穢れ」を祓い清め、清々しい心身で新年を迎えていただくための神事でございます。



除夜祭・大祓神事の様子

大祓神事に引き続き行われる除夜祭は、この一年に当大社で行われてきた何百回という祭典の中でも最後の祭典です。この祭典が終ると、しばしの静寂を経て元旦を迎えます。

日時 12月31日 午後3時～
場所 神門前

尚、遠方または参列出来ない方は、大祓神事当日までに「人形」(男=白、女=赤)に息を吹きかけ、御家族の名前・住所・年齢を、『車型』にはナンバーを御記入の上、当大社まで御返送ください。

厄年年齢表

厄年とは人生の節目であるとともに、一生のうちで災い・災難といった『厄』にあうおそれが多いため、忌み慎まねばならないという年です。

特に男性の四十二歳、女性の三十三歳は『大厄』とされ、その最後の年も『前厄・後厄』といって、最も慎み忌むべき年とされています。我々日本人の永年の生活習慣から発生した、我が国独自の慣習ではありますが、厄年を迎えると我々の先祖は神社に足を運び、お祓いをうけ避けてきました。神社でお祓いをうけ、この一年を清々しい気持ちでお過ごしください。

八方塞がり

陰陽道でどの方向に向かって事をしても、不吉の結果を生ずる年齢。転居、結婚、新しく事を始める方は要注意。

暗剣殺

「九星術」でその年の五黄土星と相對する方位で、最も慎まねばならないとされる大凶の年廻り。

昭和39年	昭和38年	昭和36年	昭和35年	昭和27年	昭和26年	昭和21年	昭和20年	昭和19年	昭和18年	昭和17年	昭和9年	昭和8年	大正14年	大正13年	大正5年	大正4年	生まれ年
大厄(男)	後厄(男)	暗剣殺	八方塞	暗剣殺	八方塞	前厄(男)	大厄(男)	後厄(男)	暗剣殺	八方塞	暗剣殺	八方塞	暗剣殺	八方塞	暗剣殺	八方塞	厄
平成9年	平成8年	昭和63年	昭和62年	昭和61年	昭和57年	昭和56年	昭和55年	昭和54年	昭和53年	昭和49年	昭和48年	昭和47年	昭和45年	昭和44年	昭和43年	昭和40年	生まれ年
暗剣殺	八方塞	前厄(女・暗剣殺)	大厄(女・八方塞)	後厄(女)	前厄(男)	大厄(男)	後厄(男)	暗剣殺	八方塞	前厄(女)	大厄(女)	後厄(女)	前厄(女・暗剣殺)	大厄(女・八方塞)	後厄(女)	前厄(男)	厄

宗像大社初詣 交通規制のお知らせ

期間	凡例
●平成16年12月31日 午後9時から 平成17年1月1日 午後9時まで	← 宗像大社順路
●平成17年1月2日～ 1月4日 午前9時から午後7時まで ※交通状況により、規制時間を変更することがあります。	↔ 一方通行
	↑ 歩行者用道路
	⊘ 車両進入禁止
	🚦 交通信号機
	🅓 駐車場



初詣期間中、交通の安全と円滑を図るため、臨時交通規制を実施します。皆様のご協力をお願い致します。

第五二〇回 宗像大社歌会詠草

大野展男選 毎月25日メット



出漁のかなはぬうちに又もくる台風予報に鱧網張る漁夫

(評) 結句の具体的描写に自然を相手とする生業に従事する人達が、ややうんざり顔で働くさまが見える。全く台風の多かった今年である。

池田 森 龍子

幾度の台風受けて庭の木々秋を待たずに葉の衰へる

(評) 木の生命力すらも奪う風の威力を淡々と述べて味わいがある。

福岡 井田 有久衣

在りし日の夫が行きつけの飲屋にてビール傾けママと語らう

(評) 夫が元気な時には少々の嫉妬もしたであろうママとビールを飲みながらの会話。一編の短篇小説であり往時茫茫である。

浮羽 向 則正

東北の訛とびかふローカル線「外は雪だど」といふ声のする

(評) なんとなく懐かしさのある鼻にかかる発音の東北弁を聞くだけで郷愁を感じるのに、雪ともなれば旅して来た感慨は一人であったらう。

日の里 大和 美由紀

高原の風に応へて風向計秋日のなかにくるくる廻る

(評) 「風に応へて」と風向計を擬人化したのが、この歌の見処であり瑕疵であろう。台風の去ったあとのころよい高原の風景である。

福岡 香月 照子

人の世に戦争無くす我が祈りまぼろしに似て戦はつづく

田熊 有田 ゆり子

差羽四五羽旋回しつつ輪をひろげ白波のたつ海に出でたり

鐘崎 安永 久子
処分すと決めし古着をまた一枚また一枚と手元に戻す

大井 木原 ふさ子

台風に付いては消ゆる電灯に炊飯ボタン押すをためらふ

日の里 石松 弘次

二人してグランドゴルフに行ける身をああ幸せと時に言い合う

朝野 藤井 浩子

戸を閉める時に挟みし指先の疼きは年と比例してをり

福岡 池浦 千鶴子

白鷺に早やも見えしやわが姿川面を越えて飛び去りゆけり

大島 越智 浩子

島裏に鳥賊とる舟は集りてくれなずむ頃あかりをともし

東旭ヶ丘 天野 玲子

持ちこくる新品種とかの黄の菊は朝露含みて花の重たし

津屋崎 佐々木 和彦

朝冷のきびしき庭にこぶりなるひまわり咲きて日の光待つ

田野 森 甲子

両腕なく体くねらせ足で水を蹴りて泳ぎぬ百メートルを

(パラリンピックにて)

飼ひ犬の三日帰らず気になれど探す術なくひたすらに待つ

福岡 中村 勇

朝は白夕べは紅に色変へる芙蓉の花は一日の命

選者詠

人間の吾らに大き影おとし悠々たりや山の上の雲
天涯と自在に交信なしをらむ雲仙岳の空をゆく雲
山頂にのぼる白煙たちまちに消ゆるは風の攫ひてゆくか



宗像大社歌会 俳句作品集(四九五)

東郷 田中 憲象
虫時雨闇より集め常夜灯

光岡 井上 嘉治
僧の袈裟目に新らしく春の庫裡

東郷 宗風社俳句会
山の間を包む雲から時雨けり

吉田 湧泉
ひとすじの光りとなりて秋の川

三浦美千代
金木犀かすかに匂ふ空家あり

田中 雨葉
落陽にそまりぬ杭の浮寝島

木原 房子
赤のまま岸辺の水に影うつす

日の里 花田いつ枝
純白のチャペルの木立ち秋高し

福岡 森 清
蒸しタオル顔に理髪師天高し

編集後記

アラファト議長
の死が報じられました。イラク情勢もそうですが、イラム・ユタヤ教團をみていると、日本の宗教との違いを感じます。紙面の通り菊花展が終わり、部署によつては新年の準備に入っています。がその前に世の中ではクリスマスがあります。▼家の愚妻は知り会った当初「キリストの亡くなった日」と言っていました。祝つてどうするんだと思ひながらも意外と一般の認識はその位かもしれません▼そういうえば神社の家に生まれながら、小生キリスト教の「青い鳥幼稚園」で賛美歌を歌っていました。今の日本、八百万神の中にはイエス様も入っているのかもしれませんが、勿論、初詣は宗像大社にご参拝下さい。(MO)

宗像大社社務所 発行所

〒811-3505 福岡県宗像市田島
電話 0940-62-1311(代)
発行人 伊藤佳和
編集人 大塚宗延
制作 ジーエータップ
印刷 セネラルアサヒ

定価1年送料共1,000円